

公益財団法人仏教伝道協会

令和2（2020）年度事業計画書

公益財団法人仏教伝道協会は、日本文化の基本でもある慈悲と共生の仏教精神と仏教文化とその学術振興を促進し、現代的理解を弘め、グローバルな啓蒙活動を通して豊かな人間性を育て、より良い社会形成を推進し、もって人類の幸福と世界平和の実現に貢献することを目的とし、その目的を達成するため、定款に定める事業に沿って「令和2年度事業計画」を立案する。

1. 公益目的事業計画（公1）

1. 趣旨（目的）まとめた理由

仏教典籍の現代語訳、外国語訳を行いその刊行、普及事業や仏教関連の各種講座、研究会の開催による仏教精神の啓蒙活動、さらに仏教音楽祭などによる仏教文化の興隆と継承活動、また仏教精神、学術、文化の振興に積極的に関わってきた個人、団体への顕彰・助成等いろいろな支援事業を通して世界中の一人でも多くの人に理解して頂き、豊かな人間性を育て、より良い社会形成促進をもって人類の幸福と世界平和の実現という共通の目的達成の手段であり下記の 2-1) から 2-3) までの事業は、つながりのあることから一つにまとめている。

2. 事業

2-1) 仏教典籍の現代語訳及び外国語訳による編集とその普及事業

1. 「仏教聖典」現代語訳、外国語訳刊行、頒布事業に関する事項

◇「仏教聖典」各国語訳とその出版について

全世界に仏教思想を伝えるべく、「仏教聖典」の翻訳改訂を進めている。現在、翻訳言語数は46言語に及び、翻訳と共に既刊の「仏教聖典」をより現代に即した内容にするための改訂編纂に努めている。令和2年度は、インドの公用語であるカンナダ語・マラーティー語の翻訳作業並びに「和文仏教聖典」付録部分の改訂及び補完作業、またベトナム語・インドネシア語の改訂作業を進める。

また「仏教聖典」の内容を完全に収録した『仏教聖典 Audiobook』の発売を予定している。

◇「仏教聖典」の普及について

世界の主要ホテルの客室に「仏教聖典」を寄贈常備する活動を行っている。

令和2年度は国内外のホテルへ約14,000冊（国内12,000冊、海外2,000冊）の寄贈を予定している。

仏教系学校および保育施設への聖典普及については継続してその頒布に努め、約30,000冊を予定している。また、病院、社会福祉施設、行刑施設、公共機関、海外協力機関等への寄贈活動も継続して行う。

更に令和2年度は国外への頒布として、インドのチャッティスガル州ライプールの仏教徒にヒンディー語版5,000冊、英語版5,000冊の寄贈を予定している。

また、「仏教聖典」の副読本である『さとりの知恵を読む』は、仏教系学校および保育施設を中心に約20,000冊を寄贈、「仏教聖典」の一部を抜粋、編集した『ブッダのおしえ』は全国の有名観光寺院、ミュージアム、学校等に約140,000冊（日本語版90,000冊、各国語版50,000冊）の寄贈を予定している。

◇『簡体字仏教聖典』中国国内頒布について

宗教文化出版社との図書出版契約に基づき、簡体字原稿の監修を完了し、今年度に印刷を進め、中国仏教協会を通じて、中華人民共和国内の寺院を中心に『簡体字仏教聖典』の頒布活動を推進する。また、聖典の贈呈式は新型コロナウイルス感染が沈静化するであろう秋以降に予定している。

2. 英訳大蔵経の刊行、頒布事業に関する事項

欧米をはじめとする英語文化圏に向けての仏教精神の理解と普及のため、「集大成された仏典」である『大正新脩大蔵経』の英訳刊行事業を日本の仏教伝道協会と米国仏教伝道協会の共同事業として進めている。第一期分として全体量の約10分の1に相当する139典籍の翻訳・刊行を進め、これまでに米国仏教伝道協会より、91典籍58巻を刊行すると同時に、既刊典籍のPDFデータをHP上で公開し、英訳大蔵経の利便性・公共性を高めている。令和2年度は第59巻目となる『法苑珠林(3)』等7冊の出版と公開、新刊毎に約200冊の国内頒布を予定している。また東京大学が中心となり進められている大正新脩大蔵経テキストデータベース研究会（通称：SAT）に英訳データを無償提供し、Web上での電子大蔵経のプロジェクトを支援しているが、令和2年度は更にこの連携を深めるため『攝大乘論』等4典籍のデータの和英対訳公開の準備を進める予定である。

3. その他仏教書籍の出版、頒布に関する事項

仏教の精神文化の裾野を広げるためカレンダー・仏教書籍を制作、全国の寺院、学校、保育施設等へ頒布する。

◇「一日一訓カレンダー」の普及について

「仏教聖典」や古今の名言から文言を選び、日々の暮らしに仏教を活かすツールとして日めくりの「一日一訓カレンダー」を作成している。

令和2年度より新シリーズ「六波羅蜜」の刊行を開始し『一日一訓カレンダー―六波羅蜜 布施―』として壁掛け版129,000部、卓上版9,500部の合計138,500部を印刷、国内外の寺院、ホテル、病院諸施設等を中心に販売・寄贈する予定である。なお、カレンダーに掲載する写真については、令和元年度の第6回フォトコンテストで入選した作品を使用する。

◇「一日一訓カレンダー」フォトコンテスト及び写真展の開催について

2014年より「一日一訓カレンダー」の文言に併せて掲載する写真を広く一般から公募し、写真を通じて仏教に親しんでもらうためのフォトコンテストを実施している。

昨年度に引き続き、「第7回一日一訓カレンダーフォトコンテスト」を開催し、「2022年用一日一訓カレンダー（2021年刊行）」に掲載する写真を公募する。

また2019年度「第6回一日一訓カレンダーフォトコンテスト」入選作品の写真展を、4月下旬～6月中旬に東京・築地本願寺、6月下旬～9月中旬に京都・平等院ミュージアム、10月初旬～11月下旬に宮城・瑞巖寺にて開催する。

◇釈尊絵伝について

2023年(野生司香雪画伯没後50年)の「釈尊絵伝絵画展」開催に向けて準備を進める。また複製画及びパズルの販売・寄贈は継続する。

◇『紙芝居ブッダ』について

昨年度、仏教系保育施設2,500件に寄贈した『紙芝居ブッダ』2,000セットを増刷し、全国の寺院に向けて販売(直販)する。

また、スクリーンや大型モニターで紙芝居を上演できるよう「画像DVD」を製作し、販売する方向で関係者と交渉中。

◇「みちしるべ」発刊について

「一日一訓カレンダー」の文言を、より深く理解するための解説書として施本「みちしるべ」を発刊している。令和2年度より六波羅蜜シリーズを開始、一巻目となる『みちしるべ―六波羅蜜シリーズ 布施』を刊行する。執筆者は釈徹宗氏(浄土真宗本願寺派 如来寺住職 相愛大学教授)、名取芳彦氏(真言宗 豊山派 密蔵院住職)、吉村昇洋氏(曹洞宗 普門寺副住職)の3名。寺院を中心に約45,000部を頒布する予定である。

◇「こころの絵本大賞」開催と大賞受賞作発刊について

読み聞かせを通じて、子どもたちに「こころ」の大切さを伝えたいという願いのもと、第5回「こころの絵本大賞」の公募を実施する。大賞受賞作品には50万円の賞金贈呈と書籍化を予定している。また令和元年度第4回「こころの絵本大賞」大賞受賞作品の『ア리가ダンスをおどったら』の頒布を推進する。

◇「ブッダがせんせい」翻訳について

和文累計発行部数 300,000 部となり、英文訳も大好評を博している『ブッダがせんせい』だが、他にも「本国語に翻訳して欲しい」と多くの声が寄せられている。海外協力機関を通じての頒布を視野にいれ、まずはドイツ語・スペイン語に翻訳する。

◇「仏教手帖 2021（仮）」制作・販売について

令和元年に、日常生活の中で仏教を身近に感じていただくように、仏教に関連した行事や知識、ブッダの言葉などを手帳に加え制作・販売した「仏教手帖 2020」を令和 2 年も継続する。判型やページ数、内容、販売時期の見直しを図り、より多くの人々が手にとってもらえるようにする。直販以外に書店等の店舗等での販売も予定している。

2-2) 仏教精神と仏教文化とその学術振興の促進に対する助成と表彰事業

1. 留学生奨学金制度に関する事項

◇外国人留学生奨学金制度について

奨学生が自国に戻り日本で学んだ仏教精神とその文化を弘く伝えていただきたいとの願いから、日本で仏教学研究を希望する外国の学者・研究者または学生に対して、外国人留学生奨学金交付制度を設けている。

令和元年度奨学生の募集は、令和元年 9 月 1 日から国内外の有名大学や研究機関へ留学生奨学金案内書と推薦書を約 150 通送付して依頼及びホームページで一般公募を行い、14 名の申請があった。

令和 2 年 2 月 6 日に外国人留学生奨学金審査委員会を開催し、次の 3 名が選ばれ、令和 2 年度外国人留学生奨学金の支給を実施する。（申込順）

受給者① 氏名：Choten Dorji（チョーテン・ドルジ）

国籍：ブータン

日本での所属機関：京都大学

指導教授：宮崎泉 先生

研究内容：塞建陀羅著『入阿毘達磨論』に対する注釈 *Sārasamuccaya* の訳注研究。

受給者② 氏名：Liyu Hua（華黎裕）

国籍：中国

日本での所属機関：東京大学東洋文化研究所

指導教授：馬場紀寿 先生

研究内容：初期仏教注疏伝統の発展 小部・Ksudraka Agama の韻文注疏における研究。

受給者③ 氏名：Jonathan Edward Thumas（ジョナサン・エドワード・スマス）
国籍：アメリカ
日本ででの所属機関：東京大学史料編纂所
指導教授：菊地大樹 先生
研究内容：院政期の「別所」の成立と中世仏教の展開。

◇日本人留学生奨学金制度について

平成25年度から日本人の学者や研究者が海外の大学や研究機関にて仏教精神とその文化を学び、将来世界のこの分野で大きく貢献してくれることを期待して日本人留学生奨学金制度を設けている。

令和元年度奨学生の募集は、新たに短期留学支援制度も導入し、令和元年7月1日から国内外の有名大学や研究機関へ留学生奨学金案内書と推薦書を約150通送付。ホームページで一般公募を行い、4名の申請があった。

令和2年2月6日に日本人留学生奨学金審査委員会を開催し、次の4名が選ばれ、令和2年度日本人留学生奨学金の支給を実施する。（申込順）

<1年留学支援>

受給者①氏名：石村美幸（いしむら・みゆき）
海外での所属機関：オーストリア科学アカデミー・アジア文化研究所（オーストリア）
指導教授：Birgit Kellner 先生
研究内容：仏教論理学派におけるアポーハ論思想史の解明。

<短期留学支援（3ヶ月）>

受給者②氏名：京極祐希（きょうごく・ゆうき）
海外での所属機関：パリ高等研究実習院宗教学部門（フランス）
指導教授：Vincent Eltschinger 先生
研究内容：ダルマキールティ著『プラマーナヴァールッティカ』「直接知覚章」におけるアポーハ説の研究。

<短期留学支援（5ヶ月）>

受給者③氏名：富永曜照（とみなが・ようしょう）
海外での所属機関：カリフォルニア大学バークレー校（アメリカ）
指導教授：Alexander von Rospatt 先生
研究内容：Saddharmapuṇḍarīkasūtra（Kashgar 写本）第2章「方便品」の内容検討ーネパール系写本と比較してー

＜短期留学支援（4ヶ月）＞

受給者③氏名：渡邊眞儀（わたなべ・まさよし）

海外での所属機関：アショーカ大学（インド）

指導教授：Alex Watson 先生

研究内容：ヴァイシェーシカ学派における時間の知覚説。

◇「奨学金留学生交流会」開催について

来日中の外国人奨学生およびその指導教授と、これから留学するまたは既に留学を終え帰国した日本人奨学生を招き、互いの研究内容を共有し、交流を深めていただくための「奨学金留学生交流会」を令和2年度も開催する。

2. 顕彰事業に関する事項

仏教伝道文化賞は、国内外を問わず、仏教精神、仏教文化、仏教学術及び布教伝道など仏教に関わる幅広い分野で貢献された方がたの功績を讃え、また今後のさらなる活躍を願い表彰する賞として昭和42(1967)年に創設された。

長年に亘って仏教伝道文化に貢献のあった方または団体に「仏教伝道文化賞（賞金500万円）」を、また今後の仏教伝道を通じた文化活動の振興が、大いに期待できる方または団体に「仏教伝道文化賞 沼田奨励賞（賞金300万円）」を授与する。

令和2年度は10月8日（木）に贈呈式の挙行を予定し、4月初旬より国内外の仏教各宗派、大学等の教育機関、研究機関、仏教団体、報道機関、政府機関及び専門家等に推薦依頼状を発送、「仏教伝道文化賞」及び「仏教伝道文化賞 沼田奨励賞」の推薦を受け、7月29日（水）に仏教伝道文化賞選定委員会を開催し、令和2年度の受賞者を決定する。

3. 助成事業に関する事項

当協会の事業目的と同じ目的を持ち、その活動を積極的に展開している個人及び団体を選定し、当協会の目的とする事業実現のため国内外で助成支援を行う。助成にあたっては、外部有識者や専門家からなる助成金審査委員会のもと、公正な審査を経て選定、助成する。

令和2年度助成対象(令和元年度募集分、交付時期(2020年4月～2021年3月))を審査するため、令和2年1月23日に助成金審査委員会が開催され、審議の結果、下記の団体にそれぞれ助成金を交付することが決定し、令和2年度は国内総額で21,387,700円、海外は7,850,000円、US\$20,000、CAD\$240,000、£30,000、€111,000の助成を実施する。

A. 団体支援助成

団体名	申請事業名称
日本印度学仏教学会	情報化対応を介した国際的学術交流及び文化貢献の促進事業
特定非営利活動法人 鎌倉てらこや	大学・寺社・行政・市民ボランティアの協働による地域コミュニティ再興事業
フリースタイルな僧侶たち	仏教フリーマガジン「フリースタイルな僧侶たち」の発行、Web、イベント開催事業

B. 事業支援助成：B-1 仏教精神・文化普及活動及び人道支援活動

団体名	申請事業名称
公益財団法人全国教誨師連盟	教誨師研修事業
公益社団法人在家仏教協会	講演会開催事業
全日本仏教青年会	国際青年仏教徒交換プログラム
一般社団法人 Project Gamon	仏教フリーマガジン「わげんせ」発行事業
公益社団法人シャンティ国際ボランティア会	ミャンマーにおける仏教おかしばなし絵本化プロジェクト
H1 法話グランプリ実行委員会	H1 法話グランプリ～2020 in 奈良～
東北大学大学院文学研究科実践宗教学寄附講座	臨床宗教師育成事業
世界仏教徒青年連盟（タイ）	ティク・ナット・ハン／ブラムヴィレッジ僧侶団との交流、マインドフルネス・リトリート国際仏教研修会
島根県仏教会	第45回 全日本仏教徒会議 島根大会
公益社団法人大谷保育協会	保育心理士資格取得講座

B. 事業支援助成：B-2 仏教学術振興活動

団体名	申請事業名称
公益財団法人中村元東方研究所	2020年度 研究調査事業
龍谷大学 龍谷ミュージアム	2020年度 特別展「仏弟子たちの物語」(仮称)
公益財団法人日独文化研究所	日独の四つの研究所が共催するワークショップ 「仏教とキリスト教の〈自然〉概念」
エトヴェシュ・ローランド(ELTE) 大学仏教研究センター (ハンガリー)	東アジアにおける普賢菩薩の総合研究—文献学 や図像学の調査に基づいて

B. 事業支援助成：B-3 仏教文化財保護活動

団体名	申請事業名称
浄土真宗本願寺派本願寺ハワイ 別院	次世代への絆 (i am a link) (本堂その他の修復事業)

C. 沼田仏教講座運営維持・新規開設支援助成

団体名	申請事業名称
University of Vienna (ウィーン大学・オーストリア)	沼田仏教講座活動助成
The University of Chicago Divinity School (シカゴ大学神学部・アメリカ)	沼田仏教講座活動助成

助成金分割交付分

団体名	申請事業名称
SOAS, University of London (ロンドン大学東洋アフリカ研究 学院・英国)	沼田仏教学教授ポスト設立事業
Hamburg University Numata Center for Buddhist Studies (ハンブルク大学沼田仏教学セン ター・ドイツ)	沼田仏教学センターの充実化事業
東京藝術大学大学院 文化財保存学専攻 保存修復彫刻研究室	仏像の調査研究および修復・模刻を通じた人材育 成事業
Leiden University (ライデン大学・オランダ)	沼田仏教講座活動助成
McMaster University (マクマスター大学・カナダ)	沼田仏教講座設立事業
Chengchi University (国立政治大学・台湾)	沼田仏教哲学プログラム設立事業
野生司香雪画伯顕彰会	サールナート(インド)野生司香雪の仏伝壁画保 全事業
身延山大学	ラオス・ルアンパバン世界遺産仏像修復技術者育 成プロジェクト実施事業

2-3) 仏教精神とその文化興隆にかかわる啓蒙活動と支援事業

1. 啓蒙活動としての仏教関連講座、セミナー、研究会等の運営に関する事項

◇仏教聖典を初歩英語で学ぶ会について

英語を通して仏教精神を学ぶことを目的とし、ホームページ、業界新聞、行事チラシなどで案内し、平成 23 年より「仏教聖典を初歩英語で学ぶ会」を開催している。

令和 2 年度は、ケネス・田中氏（武蔵野大学名誉教授）とケアリー・田中氏（英語音声学研究者）の二人を講師に、平成 28 年度より実施した国際社会に向けて寺院等で英語によるガイドができる人材育成に貢献することを目的とした「Buddhist English Guide プログラム」の 3 級コースおよび 2 級コースにて、英語を交えながら仏教を学ぶカリキュラムを実施する。各コースは月 1 回開催し、3 級コースは定員 80 名、2 級コースは定員 45 名とする。尚、新たなプログラム構築のため、3 級コースは令和 2 年度で終了する。（参加費 3 級、2 級とも 10,000 円）

◇実践布教研究会について

日本仏教の祖師がたが歩まれた道を、現代に生きる僧侶たちが自ら体験することによって、聞・思・修一体となった仏道を体験していただき、仏教の現代的理解の促進、ならびに各宗派の僧侶間の交流を推進すべく、各宗派の本山を会場に毎年 1 回 2 泊 3 日にて実践布教研究会を開催しており、現在までにその開催実績は 49 回を数える。

令和 2 年度は 6 月 3 日(水)から 6 月 5 日(金)まで、第 50 回実践布教研究会として天台宗 総本山比叡山 延暦寺を会場に「比叡山の仏道～回峯行に学ぶ」をテーマに開催する。また、研究会での講演内容（映像）を編集し、ホームページにて公開する。

さらに宗派を超えた僧侶間の交流をより促進すべく、実践布教研究会前日の 6 月 2 日（火）に龍谷大学響都ホール会議室にて分科会でのテーマを事前に討論する「特別法座」を設け、参加僧侶方の語り合う場を提供する。

◇仏教聖典を生活に活かす会について

仏教精神を日常生活に活かすことを目的としてホームページ、業界新聞、行事チラシなどで案内し、「仏教聖典」を基本教材に、毎月 1 回(原則、第 4 火曜日、午後 1 時 30 分から午後 3 時まで、講話・質疑応答を含む)専門家の講師を招き、「仏教聖典を生活に活かす会」（全 10 回）を主催運営する。講師は、塩入亮乗氏（聖観音宗法善院住職）と前田壽雄氏（武蔵野大学准教授）。

◇仏教聖典を経営に活かす会について

仏教精神を学び事業経営に活かし、また人生の道標の一助とすることを目的とし、おもに事業経営者や社会人を対象にホームページ、業界新聞、行事チラシなどで案内し、「仏教聖典」を基本教材に、毎月 1 回(原則、第 4 金曜日、午後 6 時

から 8 時まで、講話・懇談会含む)専門家の講師を招き、「仏教聖典を経営に活かす会」(全 10 回)を主催運営する。講師は、一楽真氏(大谷大学教授)と千葉公慈氏(東北福祉大学学長)。尚、9 月には、日本仏教への理解を深めると同時に参加者同士の交流をはかることを目的に、「仏教聖典を生活に活かす会」の参加者と合同で、寺院等を訪問し、研鑽する「秋季研修会」を開催する。

◇BDK シンポジウムの開催について

平成 25 年 4 月から、一般の方がたに、より仏教文化、仏教精神の素晴らしさを広く知っていただく機会を提供する為、シンポジウムを企画、ホームページ、新聞、行事チラシなどで案内し実施している。

令和 2 年度は、BDK シンポジウムとして下記の開催を企画する。

開催日程	テーマ	講師
時期調整中	仏教聖典を経営に活かす会・熊本編 「世界遺産マネジメント ～修理と活用と理念～」 ※2020 年 3 月 12 日に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期したもの。	神居文彰氏 平等院住職
4 月 9 日(木)	仏教聖典を経営に活かす会・名古屋編 「たった一度の人生をどう生きるか」 (名古屋開催) ※2019 年 3 月 6 日に開催予定であったが、講師事情により延期したもの。	青山俊董氏 愛知専門尼僧堂堂長
7 月 20 日(月)	仏教伝道文化賞受賞者講演 「今、ここを生きる あなたに ～信心の社会性く仏教が現代に提言できること」(仮) (札幌開催)	藤田徹文氏 第 53 回仏教伝道文化 賞受賞者
9 月 12 日(土)	「誰も知らない釈尊-新たな釈尊伝(仮)」-	森 章司氏 東洋大学名誉教授
12 月 10 日(木)	「仏教で人は幸せになれるのか(仮)」	南 直哉氏 青森県恐山菩提寺院 代
2021 年 3 月 13 日(金)	「スピリチュアルケアの現在(仮)」	玉置妙優氏 看護師・僧侶

(参加費各回 1,000 円)

◇BDK 仏教ヨガ講座の開催について

平成 27 年度より、健康や美容という視点のみに焦点が当てられていたヨガを、釈尊が実践していた修行体系（呼吸法）の一つであることに戻り、浄土宗僧侶でもあるヨガインストラクターの Yuuka(ガッソ有香)氏を講師とし、仏教に焦点を当て、毎月第 1 水曜日（午後 7 時 00 分から午後 8 時 30 分まで）仏教ヨガ講座を開催している。（参加費 1,000 円）。

令和 2 年度は、引き続き Yuuka 氏を講師に迎え、ホームページ、各メディアなどで広く案内し、それぞれの開催月に合った法話とヨガを実施する。

◇仏教初心者講座「一から学ぶ日本の仏教」について

平成 28 年度より、仏教の基本的な知識に触れることの少ない方を対象とし、日本仏教の各宗派の基本的な教義や宗祖について学ぶ、仏教初心者講座「一から学ぶ日本の仏教」を開催している。

5 年目にあたる令和 2 年度は、新しいエリアの参加者獲得および当協会の活動周知のため、JR 秋葉原駅近くの貸し会議室を会場として開催する。開催日程、各回の講師等については以下の通り。

開催日程	テーマ	講師名
4 月 28 日（火）	天台宗・最澄	木内堯大 氏（大正大学特任准教授）
5 月 26 日（火）	真言宗・空海	名取芳彦 氏（真言宗豊山派密蔵院住職）
6 月 30 日（火）	浄土宗・法然	林田康順 氏（大正大学教授）
7 月 28 日（火）	浄土真宗・親鸞	井上見淳 氏（龍谷大学准教授）
9 月 29 日（火）	日蓮宗・日蓮	山口顯辰 氏（日蓮宗池上本門寺学監）
10 月 27 日（火）	臨済宗・栄西	松本隆行 氏（臨済宗建長寺派能満寺住職）
11 月 24 日（火）	曹洞宗・道元	吉村昇洋 氏（曹洞宗普門寺副住職）

（参加費各 1 回 1,500 円、講義時間 18:30～20:30 の 120 分）

なお、平成 31 年度に引き続き、仏教初心者講座「一から学ぶ日本の仏教」を経て、もう少し深く学びたいという方に向けた仏教初心者講座”特別編“を企画、開催する予定である。

◇「特別坐禅会」の開催について

平成 28 年度からはじまり、平成 29 年度、平成 30 年度、令和元年と 4 度にわたり坐禅とヨガを組み合わせた「特別坐禅会」を曹洞宗大本山総持寺にて開催した。令和 2 年度も坐禅、ヨガ、精進料理、諸堂拝観の体験を通じて仏教に触れてもらうため引き続き総持寺において開催する。今回はヨガ講師に日本のヨガ界の第一人者として活躍するケン・ハマクラ氏を招き、また曹洞宗僧侶の藤田一照氏よりご講話をいただく。

ホームページ、各メディア、行事チラシなどで案内し、令和 2 年 9 月 6 日（日）の開催を予定している。（参加費食事付き 7,000 円、食事なし 4,500 円）

◇「体感する仏教 ～目黒編～」の開催について

「様々な宗派のお寺で実践体験できる」というコンセプトのもと、ひろく一般の方がたに仏教を体験していただく「体感する仏教 ～目黒編～」の開催を2020年11月の開催を予定している。

◇「仏教を英語で学ぶ会 in 京都」の開催について

令和元年度に当協会の活動の全国展開を促進する一つとして、当協会で開催している「仏教を初歩英語で学ぶ会」を、外国人観光客が多く、寺社仏閣を英語で説明する機会が多い京都で初めて開催した。令和2年度も Lisa Grumbach 氏（龍谷大学非常勤講師）を講師として、「英語で学ぶ日本仏教の基本」（Learning Basics of the Japanese Buddhism in English）をテーマに全6回（9月～2月の期間/月1回）の連続講座を実施する。定員は60名とする。（参加費全6回で10,000円）

◇連続仏教講座「世界の仏教を学ぶ」の開催について

令和元年度より、世界各国の仏教を学ぶ連続仏教講座「世界の仏教を学ぶ」を当協会ビルにて開催している。令和2年度は、パートⅡとして全7回（4月～10月/月1回。タイ・ラオス・カンボジア・インドネシア・ベトナム・ミャンマー・マレーシア）にわたり、南伝ルートの各国の仏教を学ぶ講座開催する。定員は70名とする。開催日程、各回の講師等については以下の通り。

開催日程	テーマ	講師名
4月23日（木）	タイ	矢野秀武 氏（駒沢大学教授）
5月28日（木）	ラオス	池上要靖 氏（身延山大学教授）
6月23日（火）	カンボジア	笹川秀夫 氏（立命館アジア太平洋大学教授）
7月30日（木）	インドネシア	木村敏明 氏（東北大学教授）
8月27日（木）	ベトナム	石井公成 氏（駒沢大学教授）
9月24日（木）	ミャンマー	蔵本龍介 氏（東京大学東洋文化研究所准教授）
10月29日（木）	マレーシア	黄蘊 氏（尚絅大学准教授）

（参加費7回一括10,000円、単発1,500円、講義時間18:30～20:30の120分）

◇「お寺の英語教室」について

オリンピック・パラリンピックの年の特別イベントとして、僧侶・寺院関係者向けに仏教に特化した英語教室を開催。寺院に参詣される外国人観光客の対応に必要な仏教英単語や会話フレーズを学んでもらうことを目的とし、さらに『和英対照 仏教聖典』や当協会の外国語刊行物の活用を促す。全日本仏教青年会と協力し、当協会職員が講師を担い、全国5箇所（東北・関東・関西・中国・九州）にて教室を開講する。定員は、各回50名前後とし参加費は徴収しない。

◇仏教ヨガ講座 Plus について

仏教ヨガ講座参加者から講座開催日数の増加を希望する声があり、それに応えるため定例の仏教ヨガ講座に加え集中講座として開催する。講師には真言宗僧侶でもあるヨガインストラクターの Momo 氏を迎え、ヨガ、法話、瞑想を取り入れ 6 月 9 日（火）、6 月 16 日（火）、7 月 14 日（火）、7 月 28 日（火）の 4 回開催する。（参加費 1 回 1,000 円）

◇FM 大阪ラジオ企画について

若年層へのアプローチと仏教伝道協会の知名度の拡大をはかるため、関西圏をカバーする FM 大阪にて、平成 30 年度より放送を開始したラジオ番組「サタデーナイト仏教」（毎週土曜日深夜 24:55 から 5 分間）を令和 2 年度は放送時間を拡大して（毎週土曜深夜 24:15 から 15 分間）継続する。月替わりで僧侶（偶数月）と若手芸人（奇数月）をゲストに迎え、仏教をわかりやすく伝える。

◇「輝け！お寺の掲示板大賞 2020」の開催について

お寺の掲示板の標語の写真を撮影し、Twitter や Instagram に投稿してもらい、受賞作品を決定する「輝け！お寺の掲示板大賞 2020」を開催する。第 3 回目となる令和 2 年度も仏教メディアなどの協力を得ながら、7 月 1 日～10 月 31 日まで作品を募集し、12 月 5 日に受賞作品を発表する。

◇「仏教聖典のありがたいことばキャンペーン 2020」の開催について

SNS を使う多くの人々が「仏教聖典」を読む機会とするため「仏教聖典」の中の心に響いた文章や表現を写真に撮って、Twitter に投稿してもらい「仏教聖典のありがたいことばキャンペーン」を今年度も実施する。

◇島根県仏教会主催 全日本仏教徒会議島根大会ブース出店について

令和 2 年 10 月 2 日（金）～3 日（土） 島根県民会館にて、島根県仏教会主催、公益財団法人全日本仏教会共催にて第 45 回全日本仏教徒会議島根大会が開催される。全日本仏教会加盟団体、島根県仏教会加盟・未加盟寺院、檀信門徒、一般市民が参加する同大会に BDK ブースを出店し、他団体等と交流を図り、仏教伝道協会の活動を周知するとともに、活動理解協力者発掘の一助とする。

◇「仏教聖典」PR 動画制作について

仏教伝道協会の活動の主軸である「仏教聖典」のホテルへの頒布活動と仏教伝道協会の知名度向上に繋げるため、「仏教聖典」が実際に読まれる場面を想定したストーリー性のあるイメージ動画を令和元年度に制作した。

令和 2 年度は同様に 2 本目の動画を制作し、先の動画と合わせて広く認知させるための SNS 等での配信、広告配信対策を検討し、実施する。

◇LINE アカウント作成・運用について

現在、当協会の刊行物の出版や各種講座等の広報を行っているメールマガジン配信に加え、これまで以上に多くの方がたへ当協会の活動を広く周知するため当協会 LINE 公式アカウントの開設と運用を実施する。

2. 仏教音楽の現代化とその普及事業について

伝統的宗教音楽を継承すると同時に、仏教音楽の現代化を進め、広く仏教精神とその文化に親しんでいただくことによって、仏教的基盤の確立を目指し、仏教音楽にちなんだコンサートや、新しい仏教音楽の作品募集などを行っている。

令和2年度は、11月18日(水)、築地本願寺と共催し、築地本願寺パイプオルガン上納50周年記念「第20回仏教音楽祭 Buddhaspel〜パイプオルガンの夕べ」を築地本願寺本堂にて開催する。また東日本大震災より10年の2021年3月、宗門校合唱部を中心にボランティアを募り、福島に歌を届ける「コーラスボランティア GASSHO」を福島県いわき市にて開催する。

3. 三田落語会の事業について

昨年度に続き、協賛団体として、4公演分の協賛広告費を支出する。

4. 貸し会議室事業に関する事項

◇公益目的事業としての施設の貸与事業について

仏教伝道センタービルの施設を有効活用し、公益目的事業として施設の貸与事業を行う。当協会が公益財団移行後に公益目的として掲げる“豊かな人間性を育て、より良い社会の形成を促進しもって人類の幸福と世界平和の実現”に貢献する事を目的とした会議等を開催する公益法人、社会福祉団体、NPO法人、市民団体等を優先し、通常(一般)は3ヶ月前からの予約受付に対し、6ヶ月前から予約を受け付け、通常(一般)価格の半額で貸出し、多くの公益目的事業を側面から支援することによって、社会貢献する。

II. 収益事業計画（収1）

◆収益事業としての施設の貸与事業に関する事項

仏教伝道センタービルの施設における公益事業目的で当面使用予定のない空きスペースならびに空き時間を一般に向けて貸与する事業を令和2年度も継続して行い、利益のうち50%を公益目的事業に寄付する予定である。

III. その他

本事業計画に掲げるもののほか、この法人の目的達成のため、必要と認める事業を行う。

以 上